

## IWGAワールドゲームズ アメリカ合衆国 バーミングハム 7月7日(木)~17日(日)

監督兼審判：伊差川浩之 コーチ：阿久津貴史 福島和文

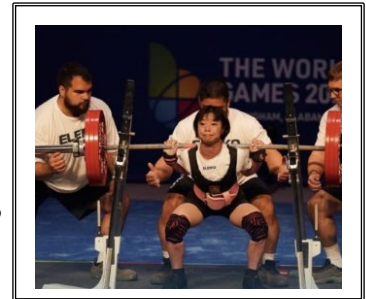
コロナ感染拡大で2021年の開催が1年延期。2022年も開催が危ぶまれたが、無事行われた。「試合以外イレギュラーなこともあったが、伊差川さんが対応してくれ、コーチ陣も試合をしやすい、いい空気感を出してくれ、問題なく試合にのぞめた。パワフルジャパン6名は最高で、最強だった。」と選手が感謝していた。福島選手が1.03p差、佐竹選手が、0.19p差での優勝、コーチ陣の計算力も光った。

### 軽量級 優勝 福島友佳子

**SQ**172.5○ 182.5× 182.5× **B**120○ 125○ 127.5○ (M2世界新)

**D**155○ 165○ 170○ (M2世界新) **T**470kg **TP**104.08p

ワールドゲームズは、6回出場。銀メダル2回、銅メダル2回。念願の金メダル獲得。「これまでしつこくしぶとくパワーリフティングを続けてきたので、神様のご褒美だと思う。ここまでにたどり着くまでたくさんの方の力をお借りしたこと、そして、和さん、ポーランド大会は、帯同できなく涙したけど、この金メダルで報われた。」と感謝をしていた。



### 軽量級 優勝 佐竹優典

**佐竹選手** **SQ**310 **B**210 **D**265 **T**785kg **TP**105.49p

**シェー選手(台湾)** **SQ**270 **B**215 **D**290 **T**775kg **TP**105.30p

逆転をかけたシェー選手がデッド 295kg を引ききれなかった瞬間、佐竹選手が優勝。なんと0.19ポイントの僅差での優勝だった。

「人生最大の目標だったワールドゲーム優勝、チャンピオンの名に恥じない人間になれるようこれからも真摯に競技に向き合い、精進していく。」と決意を新たにされた。

### 中量級 6位入賞 鈴木豪

**SQ**270○ 280○ 287.5○ **B**212.5○ 215○ 217.5○

**D**270○ 280○ 300○ **T**802.5kg **TP**99.52p

激戦の中量級での6位入賞は立派。佐竹選手と共に20代若い2人に今後も期待したい。

